

（魅力動画）

（入会申込フォーム）

（行事案内）

同友会って
どういう会？

おきなわ同友会しんぶん ニライ みらい

2024年（令和6年）
11月号
No. 440
発行：沖縄県中小企業家同友会
編集：広報委員会
〒901-0152
沖縄県那覇市字小嶽1831番地1 沖縄産業支援センター603号
☎098-859-6205(代) FAX.098-859-6208
http://www.okinawa.doyu.jp
E-mail:doyu@okinawa.doyu.jp

21世紀に 輝く No.235

天然記念物のマングローブが群生することでも知られる東村・慶佐次。慶佐次の豊かな森でカフェやキャンプ場での宿泊から収穫体験までを味わえる「又吉コーヒー園」。ちなみに、聞き手・新井も数年前に家族でこちらのコテージに宿泊しましたが、子どもたちが自然を

五感で楽しみ感動し、今でも「また泊まりたい!」と思つてます。自然を生かすことを大切に運営されている「又吉コーヒー園」について、代表取締役の又吉拓之氏に伺いました。

なぜ、コーヒー？

もともと、このコーヒー園は、又吉氏の父が経営していたバラ園（沖縄かぐや姫）でした。バラ栽培には農薬を多く使うため、「どうにかならないものか?」と、当時、父は悩んでいたそうです。台風被害で閉園を決断したタイミングで、無農薬栽培でできる作物を模索したところ、知人の勧めでコーヒー栽培に着手。試験

的に始めたコーヒーが順調に育つたため、本格的に事業を展開し、二〇一六年、又吉コーヒー園を設立します。「当初、美味しいコーヒーを作りたいとか、それを多くの人に飲んでもらいたいとかではなく、農薬を使わない作物を探した結果がコーヒー」そんなきっかけでした。

しかし、バラからコーヒーに転換するための資金が不足。さらにコーヒーは商品化まで時間がかかるため、収益化までのタイムラグも……。そこは、汗を流して栽培ハウスを地道に自作することでなんとか乗り越えてきたそうです。



コーヒーを通して、繋ぐ未来

(株)又吉コーヒー園 代表取締役 又吉拓之氏（北部支部）



又吉コーヒー園のカフェ

生産者に適正な利益を

一番人気の「又吉ブレンド」は、沖縄の豆と海外の豆をミックスしたコーヒーですが、豆の選定にも強いこだわりが。コーヒーは品質によりピンキリで、価格が高い豆は生産者に適正な報酬が還元されるため、質の良い豆を選んで購入しています。自身がコーヒー生産者でもある立場から、安価な豆ではなく、フェアトレード以上に生産者に利益が還元される「スペシャルティコーヒー」に注目し、また、近年「ダ

怒らずに、仕組みの改善に焦点

経営の中での喜びは、スタッフ为主体的に働いてくれること。スタッフ

収穫体験で二杯の価値を

収穫体験には、コーヒー好きの一般の方はもちろん、プロのバリスタや焙煎士も訪れています。畑での収穫から、種を取り出して水洗い、乾燥、脱殻の体験。そして、乾燥したコーヒー豆を焙煎し、最後に抽出してようやく試飲。約二時間半のプロセスを経て、初めて一杯のコーヒーが完成します。単にコーヒーを収穫し、飲むというだけでなく、手間を感じ、コーヒー一杯の価値について考えることができる体験です。

長期ビジョン、生産者の暮らしの向上

又吉氏はコーヒーの「精製（発酵や加工）」のプロセスに力を入れていきたいとのこと。精製プロセスは味を大きく左右し、良い品質のコーヒーは買取価格が上昇するだけでなく、生産者が価格を決定する立場に立つことができます。「今後の長期ビジョンとして、このノウハウをアジアの新しいコーヒー生産地（ミャンマーやラオスなど）に提供し、現地のコーヒー生産者を支援したい」と語る又吉氏から生産者の生活の向上を目指す、未来志向の熱い想いを感じました。

(株)アイランド・プロジェクト 新井章仁

《会社概要》

株式会社又吉コーヒー園

代表取締役 又吉 拓之氏

（北部支部）

所在地/国頭郡東村
字慶佐次718-28
TEL/0980-43-2838
URL/https://www.matayoshicoffee.jp

が自分の時間を惜しんで業務に取り組む姿に「本当にありがたい」と感じています。又吉氏は、「絶対に怒らない」ということを特に心がけ、ミスが起きた際も、個人を責めるのではなく、仕組みの改善に焦点を当てることで、スタッフが安心して働ける環境を整えており、離職率も低いそうです。

豊年祭」を観ました。神獅子である獅子加那志は、人の法要にあたる年忌の年の旧暦八月十五日と十六日に開かれる豊年祭にだけ姿を現し、地域の繁栄を願い舞い踊ります。今年は戦後三巡目の十三年忌で、九月十七日と十八日の予定でしたが、台風の影響で十七日のみ開催されました。午後二時に野呂殿内から馬場まで道ズネーした後、敬老会演舞、棒巻、棒術が行なわれ、特設舞台では午後六時から深夜零時過ぎまで、三十の演目が上演されました。私は社長・社員共育塾を受講し、その後の社員との懇談会を終えてから駆け付け、到着したのは午後十時頃でした。同友会大学で毎年講師を務めて頂いている神谷武史氏による「加那よー天川」の他、組踊「八重瀬」「松竹梅鶴亀」「舞方・獅子舞」等を観ることができました。時折激しい風雨が打ちつける中、地域の伝統行事を多く観客が堪能しました。志多伯の人口は九百人余りですが、全ての演目の出演、地謡、アナウンス、大道具・小道具、舞台設営等のほとんどを区民だけで運営していました。老若男女が一致団結する伝統文化継承の様子は、企業経営や同友会運動の参考になりたいと思いました。（宮城光秀）

茶論

三百年の歴史がある八重瀬町字志多伯の「獅子加那志」は、神獅子である獅子加那志は、人の法要にあたる年忌の年の旧暦八月十五日と十六日に開かれる豊年祭にだけ姿を現し、地域の繁栄を願い舞い踊ります。今年は戦後三巡目の十三年忌で、九月十七日と十八日の予定でしたが、台風の影響で十七日のみ開催されました。午後二時に野呂殿内から馬場まで道ズネーした後、敬老会演舞、棒巻、棒術が行なわれ、特設舞台では午後六時から深夜零時過ぎまで、三十の演目が上演されました。私は社長・社員共育塾を受講し、その後の社員との懇談会を終えてから駆け付け、到着したのは午後十時頃でした。同友会大学で毎年講師を務めて頂いている神谷武史氏による「加那よー天川」の他、組踊「八重瀬」「松竹梅鶴亀」「舞方・獅子舞」等を観ることができました。時折激しい風雨が打ちつける中、地域の伝統行事を多く観客が堪能しました。志多伯の人口は九百人余りですが、全ての演目の出演、地謡、アナウンス、舞台設営等のほとんどを区民だけで運営していました。老若男女が一致団結する伝統文化継承の様子は、企業経営や同友会運動の参考になりたいと思いました。（宮城光秀）

女性経営者部会「碧の会」

第36回 輝く女性経営者のつどい

九月四日、パシフィックホテル沖縄を会場にZOOM併用にて、「笑いあり涙あり！崖っぷち旅館を再興させたどじょうすくい女将の奮闘記」のテーマで、さぎの湯温泉旅館『竹葉（ちくよう）』三代目女将小幡美香氏の講演する碧の会「第三十六回輝く女性経営者のつどい」が



ネクストリーダー賞の受賞者（右端は嘉数部長）

二百三十四名の参加で開催されました。また、前段には第五回目となる「ネクストリーダー賞」の表彰式が行われ、最優秀賞に沖縄女子短期大学の伊志嶺晴蘭さんが表彰されました。「ネクスト



小幡 美香氏

三代目女将小幡美香氏。嫁いだ先の旅館は、お金もお客様もなく、知られてもない。そんな経営難が全ての始まりでした。「敵は他の旅館ではない。時代だ。時代に合わないからすたれ

「縁」を大切にすると「円」も潤う

ていったのだ」そう考え、存在を知ってもらうために始めたブログは今年二十一年目に突入。二〇〇四年に週刊文春に掲載されたことを機に、多くの方々から声がかか

るように。そして郷土芸能である「安来節」のように踊り「を自社のホスピタリティの掘り起こしに使うことが、『どじょうす

い女将』の誕生につながったのです。「どじょうすくいは土壌、地域すくい」地域に注力し、心を合わせ、縁を結ぶ経営に注力

しているという小幡氏。「縁」を大切にするとぐるっと回って「円」も潤ってくる」熱のこもった瞳で、何度もご縁の

浦西支部 企業プレゼン&ミニ例会&特別講座

九月二十五日、産業支援センターにて浦西支部の企業プレゼンとミニ例会が行われ、二十三名が参加しました。



大石氏（左）と石原氏（右）

企業プレゼンでは（株）A I Mの石原享社長が

「負けない経営」と題して、自身が起業するまでの経緯や、関わる会社はどうしたらよい経営になるのかを考えた結果「資金繰りの把握」が重要だと考えたことなど、事例を通して分かりやすく説明して下さいました。

ミニ例会では「大逆転の経営ドラマ」先代に誓う後継の決意」と題して（株）イーエーシーの大石正明社長の報告で、会社の創業当時から苦難の連続の話や、自身が入社した理由や先代と共に6億

ウ」にて新会員心流（こうりゅう）ディナー会を開催しました。役員と新会員がバランス良く六テーブルに配置され、飲食を楽しみながら交流を深めました。

一番の目的は新会員のフォローという事もあり、当日参加も含めて、二十五名の参加で盛況でした。カフーシリウキウの提供するお食事をしみながら、各テーブルでお互いどんな事業をしているのかを聞き取り「他己紹介」という形で新会員を紹介発表した場面は大いに盛り上がりました。その場で初めて会った方が、ご自身の

新会員心流 ディナー会

那覇支部は九月二日に那覇市松尾の八汐荘にある「カフーシリウキウ



根橋 理香氏

九月二十七日、産業支援センターにて那覇支部例会が八十名で開催され、会場は熱気に包まれました。

報告者である（株）カリタスの根橋理香代表取締役の独立のきっかけは、所属していた事務所の突然の解散。コピーライター中心で独立し、チームが

愛を込めて生きる老舗企業へ

育つも「経営のことは全く頭になかった」ことが元となり、借入や新事業のトラブル、人間関係の悪化で悩み、心身のどん底を味わうことに。

そんな中、同友会へ入会します。恩師となる神父との出会い、そしてスタッフの信頼を感じたことで、経営者になる覚悟をした根橋氏。社内外の体制を整えつつも、時代の流れを読み、第二創業としてモノづくりに舵を切ることに。そのモノづく



心流ディナー会の参加者

事業を紹介するという方法は、新会員の方も大きな気付きがあったかと思えます。（あいエフピー・大浜博文）



星崎 浩二氏

浦西支部特別講座 いまさら聞ける お金のアレコレ

円の借金を4年で完済した経緯、完済後すぐに先代である父に病気が見つかり半年で逝去、三十五歳の時に事業承継をした話を報告しました。一番悩んでいた時、お世話になった経営者に勧められ「経営指針作成講座」を受講し、ビジョンが見えてきたと話されていました。（有友誠・棚原歩美）

九月二日、沖縄産業支援センターにて「いまさら聞けるお金のアレコレ」のテーマで、浦西支部特別講座が開催され、十三名が参加しました。

講師は、政策委員長でもある星崎浩二氏。実用的な情報として、お金を増やす方法や株の購入方法、新NISAの活用方法等、具体的で実践的なアドバイスが多く、すぐに実生活に役立てることができそうです。又、投資アドバイスの専門家としての経験に基づいており、信頼性の高い内容でした。受講者同士は、交流・意見交換ができ、新たな視点を得られました。お

インターシップでの 企業、学生、学校の 報告

共同求人委員会では、インターシップ学習会を九月九日、沖縄空手会館にて開催しました。これからの新卒採用には、インターシップが欠かせないものになります。ですが、インターン

シップの始め方が分からない、そもそも学生を受け入れたとしても何をさせていいのかわからない企業も多いと思います。今回の学習会は、受け入れた企業がどう対応したか、インターシップを学生の時に経験した新入社員からは、十社行ってみての感想、沖縄大学の大城就職部長には、学校側の取り組み状況についてお話ししていただきました。

共同求人委員会では、同友会独自のインターシップの取り組みを始めようと動き出しています。今後も企業同士が切磋琢磨しながら、同友会らしい求人活動ができるように学べる場を提供していきます。（事務局）



文進印刷株式会社

本社／〒901-0416 沖縄県島尻郡八重瀬町字宜次706-4
TEL (098) 996-3356 (代) FAX (098) 996-3357

那覇営業所／〒902-0074 沖縄県那覇市字仲井真201番地18
TEL (098) 855-2323 (代) FAX (098) 996-3357

浦添営業所／〒901-2111 沖縄県浦添市経塚811-14
TEL (098) 879-9303 (代) FAX (098) 996-3357

宜野湾営業所／〒901-2214 沖縄県宜野湾市我如古3-11-5 1F
TEL (098) 898-1055 (代) FAX (098) 996-3357

沖縄営業所／〒904-2165 沖縄県沖縄市宮里2丁目1番3号
TEL (098) 937-8607 (代) FAX (098) 996-3357

糸満営業所／〒901-0303 沖縄県糸満市兼城473-10 グレイスコート102
TEL (098) 994-5777 (代) FAX (098) 996-3357

豊見城営業所／〒901-0211 沖縄県豊見城市字饒波499-14
TEL (098) 850-1455 (代) FAX (098) 996-3357



平成19年2月6日、個人情報保護のための仕組みである、JISQ15001:2006（プライバシーマーク 認定番号24000306（08））を取得いたしました。

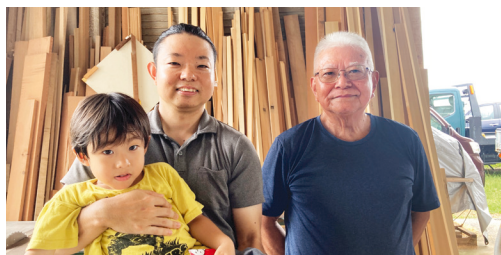


建設関係の仕事をしてきた廣茂さんは、四十歳を過ぎて木工に携わるようになり、現在の場所にあった木工所が閉鎖するのでそのまま引き取らないかと勧められ、五十歳を過ぎた二〇〇四年に創業しました。七十歳を過

木工用の作業台、工具に機械、かなな屑やおが屑、そしてなんといつても工場内に漂う木の香り。実家が建具木工所だった私には、なんとも懐かしく感じます。吊り棚やカウンター、食器棚、応接間のサイドボードといった部屋のサイズにピッタリ合った作り付けの木製家具、ドアや扉といった木工建具、床や壁の木工事に至るまで、木工のことなら何でも

手を抜かない仕事信頼を生む

約束の五年が経とうとしたころに誰も継ぐ人がいないことを知り、継承を決意して三年半ほど前に帰沖。木工所に入ります。この経緯を正貴さんから聞いて、「良かったですね」と私から声をかけたら、廣茂さんはニコニコしてらっしゃいました。



島袋正貴氏と先代の廣茂氏

《会社概要》

島袋木工所

島袋 正貴氏

〈那覇支部・ウリズン〉

所在地／南城市玉城字前川1857-9

TEL／098-948-3484 FAX／098-948-3484

事業内容／木工所（木工一式、オーダーメイド家具）

URL／<https://wood-adventure.com/>



沖繩は木工所が多い県だと私は思います。「島袋木工所が他とはココが違う」というところはどこですか？という私からの質問に、廣茂さんはキツパリと「信頼」と答えてくださいました。手を抜かない仕事信頼を生む

（伴走舎・牧野誠）

生成AI学習会

AIと共に育つ

九月十三日、津嘉山公民館において生成AI学習会が八名の参加で開催されました。講師にはオフィスブレイド代表齋藤孝春氏にお願いしまし

人間にとってAIはよき友達（パートナー）であり、AIと毎日会話して相手を知ること（コミュニケーション）。これは共に学び・共に育つ同友会の人を生かす経営に最適とお墨付き。AIを経営のパートナーとして受け入れることで、私たちの思考の幅が広がる新たな視点や発想が生まれます。AIとの共生は、中小企業が持つ柔軟さと機動

福祉作業所就労体験

九月十八日、たんぽぽ福祉作業所（糸満市・所長末次正二郎氏）への就労体験がありました。南部支部では、十月の支部例会に向けて合計四日間の就労体験を開催します。

利用者さんと共にした乾燥昆布の袋詰め作業では、定量のグラム数にするのが難しい。利用者さんは慣れた手つきでこなしますが、私たち同友会員は1gを合わせられな



例会に向けての就労体験

食品の扱いなので、エプロンや帽子、マスクは当然のことですが、途中、手袋が破れていないか指導員の方が丁寧に周り、グラム数の二重チェックなど細やかな管理のもと、安全に出荷されているのだと知りました。作業後は、丁寧に皆さんを紹介してくれたり出校を聞いてきたり、笑顔とおしゃべりが楽しかったです。この乾燥昆布をお店で見た時、嬉しいだろうな。（中村印刷・知念由紀）



支部例会のスタート

見たり聞いたりの「不離一体シート」、これをも一度読み返したい、自分でも作ってみたい、と感じたことはありませんか？

の二十七年間がぎゅっと詰まったこのシートに沿って行われました。「沖繩に住みながらアメリカ留学の経験を活かすことが出来ないか？」と考えた石原氏は、通訳の会社を経て起業します。二〇〇〇年のサミットを機に仕事が増えた矢先、9・11同時多発テロ事件が起き仕事が激減、乗り越えても新たに起きる困難の数々。これらを乗り越える原動力となったのは、社員と共にお互いが腹落ちするまで話し合う、ということ。思っていることを言い合える関係を作り、経営指針でぶれることなく未来

支部例会

認められ事業承継へ

九月二十四日、沖繩産業支援センターで、南部支部例会が開催され、「社員と共に沖繩で一番輝く設備会社をつくるため」のテーマで、(株)輝水取締役 新垣大輝氏が報告し、二十一名が参加しました。



新垣 大輝氏

例会・学習会・就労体験を開催

南部支部

の責任を取っていく経営者の姿が、シートを通してリアルに見え「自分も作ってみたい」と皆が感じた良いきっかけとなる例会でした。

(有)PLAN+PLAN・宮良高彰



前屋専務理事

経営に結び付く「コザ信用金庫景況学習会」

中部支部

九月十八日、中部支部の主催するコザ信用金庫様の景況報告学習会が、コザ信用金庫本店二階会議室で開催されました。

催されており、コザ信用金庫が四半期ごとにまとめておられる沖繩の景況動向に基づき、コザ信用金庫の前屋専務理事が、主に中部地域の視点で見た時の、経済状況を分析・報告いただき、それに基づく学習会となっていました。今回は、南部に開業されたCostcoの影響がどれくらい中部地域にあるか、賃金上昇が言

われている中で、中部地域ではどのように反映されているか、運転資金の融資は利率の上昇が言われている中でどうなるのかというような、経営者である出席者からの疑問質問に前屋専務理事がお答えいただくという形で大変経営に結び付いた、素晴らしい学習会になりました。那覇支部からの出席者や、このイベントを聞いてゲスト

参加された方（その後入会）など多彩なメンバーが参加いただきました。

第29期 同友会大学がスタート



挨拶する小渡玲学長

九月二十八日、沖縄産業支援センターにて、第二十九期同友会大学が、十九名の受講生でスタートしました。当初入学式は九月十四日に第一講と併せての予定でしたが、台風のため延期。入学式はこの日の第二講の前にスライドされ、執り行われ、小渡玲学長の挨拶や二十九期を代表して佐藤香菜子受講生より決意の挨拶がありました。

第2講 琉球の歴史 王国時代のリーダー像



高良 倉吉氏

第二講は、「琉球の歴史 王国時代のリーダー像」のテーマで琉球大学名誉教授の高良倉吉氏の講義でした。琉球王国の歴史で薩摩軍の侵入後、

第3講 変わりゆく沖縄の海



鹿谷 麻夕氏

第三講は、「変わりゆく沖縄の海」をテーマに、しかたに自然案内の代表、鹿谷麻夕氏が講師を務めました。鹿谷氏は、海ゴミや温暖化など海の環境問題を、サンゴ礁や海辺の自然の現状を紹介



深まるグループ討論

しながら提起しました。美しい海を次世代に残すために、私たち一人ひと

りが何をすべきかを考える講義となりました。

ビジネス連携部会 ゆいまゐる「ゆいピッチ」 知り合う場づくりで「連携」へ



「ゆいピッチ」でビジネス連携

九月十二日、キナリカフェにて、ビジネス連携部会「ゆいまゐる」の今年度二回目となる「ゆいピッチ」が、十三名の参加で開催されました。プレゼンターは観光委員会より(有)ウエストマリ 課長 新城秀作氏、建設委員会より、(株)りゅうせき建設 常務 稲福秀夫氏、情報委員会より、セッテンラボ(株) 社長 平田啓介氏、環境委員会より、アカルクリエイト(株) 社長 加藤政貴氏、の四名でした。

「ゆいピッチ」の目的として、部会員同士の知り合う場所づくりとして、

延期された第一講「小さな国の大きな文化」講師・「組踊」伝承者・沖縄県立芸術大学講師、神谷武史氏）は、十二月七日に開催予定です。

お互いに仕事をお願いしあったり、新事業立ち上げなどの「連携」に繋げることを掲げています。また、事業プレゼンでは、参加者からの質問やアドバイスを受けるなど、楽しく開催しています。

第52回 青年経営者全国交流会in宮崎 若手経営者部会「うりずん」含め33名参加

九月十九日～二十日に開催された青年経営者全国交流会は、「集え！変革者！日本のひなたから照らす未来」のテーマで、ガンと、「われわれ青年経営者で次代に誇れる豊かな世界を創ろう！」をテーマにして宮崎県で開催されました。

参加者は全国から一九五〇名。沖縄同友会からは三十三名（オンライン含む）が登録し、開会後は直ぐに二十の分科会に分かれての参加となりました。

二日目の記念講演は、全体で六百名が参加。日本情報クリエイト(株)の会長 米須健一氏（宮崎同友会）が、「勝てる事業づくりで地方から全国へ」同友会の学びを生かした経営実践」をテーマに

9月新会員 オリエンテーションin中部

九月の新会員オリエンテーションは、ライカムイオンホールにて、中部支部の設営で開催され、十八名（うち新会員六名）が参加しました。参加した新会員は、以下のメンバーです。

- ①那覇支部 代表社員 大木豊成氏
- ②浦西支部 学校法人バシフィック テクノカレッジ学園 学校長 辻野直直氏
- ③浦西支部 (前)列右から (株)あすなろ開発
- ④那覇支部 代表取締役 根間和美氏
- ⑤中部支部 代表取締役 玉城幸恵氏
- ⑥中部支部 (有)Home health care 代表社員 興儀香織氏



新会員の皆さま

「『青全交』」という倉岡弁慶部長からの誘いで参加しました。まだまだ同友会やうりずんも含め、『青全交』の意味も役割も分からない状態でしたが、経営者としての学びが大変多かったです。機会と動機づけをありがとうございました！『青全交』で学んだことを実践し、この経験を活かしていきます！ (株)レキオス・山城常秀



「青全交」の参加者

IT経営サポートセンター

お気軽にご相談ください！

実務経験豊富なITの専門家がオンライン面談でお悩みを解決します。

- 無料
- オンライン
- 60分
- 予約制

※HPからご予約ください

私たちがサポートします！

(独)中小機構 中小企業アドバイザー

新垣 順一 安谷屋 盛広 銘苅 幸多

中小企業のみなさま

IT化のお悩みを解決！

「もやもや」型のお悩み

何にどう取り組んだらよいかわからない

IT活用の必要性はわかってるんだけど...

誰かに相談したいが...

IT活用が必要なのはわかる。でも具体的にどうすればいいかわからない。

支援機関のみなさま

IT化支援をもっと身近に。

- どのようにIT化支援をすればいいかわからない
- 支援先からのITツールに関する相談に応えたいが、調べても良い答えが見つからない

支援機関の方

IT経営サポートセンター

独立行政法人中小企業基盤整備機構

Web : <https://it-sodan.smrj.go.jp/>

住所: 那覇市字小嶺1831-1 沖縄産業支援センター TEL:098-859-7566

IT経営サポートセンター 検索